

(3)教育・子育て 平成29年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
認定こども園について	私の子どもが通うこども園では、1歳児は待機児童がいないため、1歳児クラスを設置する必要はないと市は考えているのでしょうか。現在の待機児童の定義では、潜在的な待機児童の数が含まれていないように思います。枚方市駅近くに保育園を増やすなど待機児童を減らす取り組みを進めてください。	平成27年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成28年4月当初の待機児童の解消に向け、認可保育所の増改築等による定員増の取り組みを進めてきたところです。この子ども・子育て支援事業計画は、年度当初における待機児童の解消を計画するものでした。 現在、市では特に保育需要の高い傾向にある1、2歳児を受け入れる小規模保育事業の実施を進めており、枚方市駅周辺では、旧枚方区検察庁庁舎を活用して小規模保育事業を実施できるよう整備を進めているところです。今後も引き続き、地域の保育需要に応じた受け入れ枠の拡大について取り組みを進め、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を図ってまいります。	2016/5/9	2016/6/20	子育て事業課
小中一貫教育について	枚方市では小中一貫教育の実施に向けて取り組みが進められていますが、実施している他市等の学校では弊害も出ていると思っています。小中一貫教育の推進に反対します。	小中一貫教育においては、いわゆる中一ギャップなど、環境の変化から生じる子どもたちへの不安や負担を軽減し、小学校から中学校への円滑な接続を図ることも目的の一つとしています。 これからも子どもたちへの負担については、十分に配慮し、より良い教育課程となるよう取り組んでまいります。	2016/5/11	2016/6/24	教育指導課
保育園の待機児童の解消について	他県より枚方に引っ越しして来ましたが、子どもが保育園に入れず困っています。近隣市には待機がない保育園もあるようなので、枚方市からその地域の認定こども園への通園を認めていただければと思います。	勤務先に近い等の理由で市外の保育所(園)等の利用を希望される場合は、広域入所として、希望される自治体に枚方市から申請手続きを行います。その後、その自治体において、受け入れの判断を行います。 まずは広域入所の対象とさせていただくことができるかを本市の保育幼稚園課から確認させていただきます。その後、受け入れ先の市において判断されることとなります。	2016/5/17	2016/6/9	保育幼稚園課
留守家庭児童会室の保育料について	以前に住んでいた自治体では留守家庭児童会を無料で利用していたため、枚方では保育料が高く驚きました。	本市では、留守家庭児童会運営に必要な経費の一部を利用者の皆さまに負担していただいております。その水準につきましては、適宜見直しを行っており、平成26年4月からは、運営経費の削減と他市水準を踏まえ、それ以前の保育料月額9,200円から7,200円へ引き下げを行いました。 適切な保育環境を維持していくためには、一定の利用者負担をお願いせざるを得ませんが、今後も保育料を含めた事業のあり方を検証してまいります。	2016/5/17	2016/6/9	放課後子ども課
小規模保育園卒園後の受け皿等について	市では小規模保育園の設置を検討されているようですが、小規模保育園卒園後の子どもが、次の保育園にスムーズに入所できるような対策を考えてください。子どもが保育園に入園でき、安心して保護者が働ける環境を早急につくってください。	子育てと仕事を両立できる環境の充実策として、私立保育園の増改築や公立保育所の民営化や増改築により多くの定員増を進めてまいりましたが、保育所への入所を希望される多くの方々が、待機されていることと認識しております。また、特に増加傾向にある3歳未満児の待機児童の受け入れに対応するための緊急対応策として、北部地域並びに南部地域に小規模保育施設の整備を進めております。 なお、小規模保育施設を卒園した児童が引き続き保育所等の利用を希望される場合、保育所等に入所していただきやすくなるよう、入所選考基準において調整点を加点することにより配慮しております。	2016/5/20	2016/6/23	子育て事業課 保育幼稚園課
組体操の安全性について	子どもの通う小学校では運動会で組立体操をしていますが、毎年全国で事故がおきているので心配です。組立体操の安全確保について、取り組んでおられますか。	平成28年度、教育委員会において、組立体操のガイドラインを作成し、ピラミッドは5段、タワーは2.5段までが望ましいなど示しました。このガイドライン等に基づき、児童生徒の安全確保を最優先にし、事故防止を徹底するよう、引き続き各学校に指導してまいります。	2016/5/24	2016/7/11	教育指導課
楠葉地域の保育所不足について	楠葉は住みやすいまちですが、保育所が圧倒的に少ないと思います。認可の保育所だけでなく、認可外の保育所にもすでに定員がいっぱいだと聞かれました。平成29年4月にできる北部支所の小規模保育園では足りません。	現在、通年での待機児解消を目指し北部支所内と旧枚方検察庁跡地において、小規模保育事業開始に向けての整備を進めております。引き続き、保育需要が増加している1、2歳児の受け入れが図れるよう小規模保育事業の実施を進めるなど、安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を図ってまいります。	2016/6/3	2016/7/15	子育て事業課
他市の保育所の利用について	楠葉地域に保育所が少なく大変困っています。近隣市の保育所も利用できるようにしてください。	本市以外の保育所(園)への入所につきましては、広域入所という制度がございます。この制度は本市への転入、または本市から転出する場合に、転入出する以前から入所していた保育所(園)に継続して利用を希望される場合や、保護者の通勤先が近いなどの理由で市域を超えて保育所(園)の利用を希望される制度ですが、行政区をまたがった制度であるため、利用いただくためには種々の条件があり、また本市と該当市での協議が必要となります。(広域入所制度による受け入れを行っていない市もあります) 本市では、私立保育園の増改築や公立保育所の民営化・増改築により、多くの定員増を進めており、特に増加傾向にある3歳未満児の待機児童の受け入れに対応するための緊急対応策として、小規模保育施設を北部地域並びに南部地域に整備を進めております。今後も子育てと仕事を両立できる環境づくりに努めてまいります。	2016/6/6	2016/7/5	保育幼稚園課
小学校の統合について	少子化に取り組む一方で、なぜ小学校を統合するのでしょうか。市は、少子化問題を改善しようと思っていないのでしょうか。	本市では、人口減少への対応等を図るため、平成28年3月に「第5次枚方市総合計画」と平成31年度までに集中的に行う施策をまとめた「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、出生率の向上や、市民の定住・市外からの転入の促進につながるよう、さらなるまちの魅力向上の取り組みを進め、少子化や人口流出に歯止めをかけたかと考えております。一方、本市の児童・生徒数がピーク時に比べて半減している現状から、今後取り組む施策とのバランスを図りながら枚方市の基本方針を決め、学校統合を含む学校の配置の適正化に取り組んでいるものです。	2016/7/19	2016/8/29	教育環境整備室
保育料の多子軽減措置について	上の子の年齢に関わらず、2人目は保育料半額、3人目以降は無料にしてほしいです。保育料が安いならもう一人産もうという選択肢も出てくると思います。少子化の問題も少しは解決できるのではないのでしょうか。	多子世帯の保育料軽減につきましては、平成28年4月から国の制度改正に伴い、年収約360万円未満相当の世帯については現行の年齢による制限を撤廃し、生計を一にする子どもであれば最年長者から1人目と数え、2人目以降の軽減を適用しております。 今後も、子育てと仕事の両立支援として待機児童対策を推進するなど、安心して楽しく子育てできる環境の充実を図るとともに、多子世帯の保育料軽減のあり方につきましても検討していきたいと考えております。	2016/7/19	2016/8/29	保育幼稚園課

療育施設に通う子どもの兄弟の保育所(園)の利用について	療育施設に通う子どもがいる場合は、その兄弟の保育所(園)利用選考基準の点数が最高点でしたが、平成27年度より制度が変更され最高点ではなくなりました。兄弟を保育所(園)に預けないと療育施設に通えない現状です。保育所(園)入所利用選考基準の点数を以前の水準に戻してほしいです。	保育所入所における手続き方法等につきましては、平成27年度に子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、見直しを行いました。当該の「母子通園施設に兄弟姉妹が通園する場合」についても、園が示す優先利用の考え方にに基づき変更したところで、点数表の見直しは大変難しい状況です。今後も待機児童解消に向けた体制整備を進める等、可能な限りスムーズに入所できるよう努めてまいります。また、一時預かりやファミリーサポートセンター等についても、利用しやすいサービスとなるよう取り組んでおりますので、ご利用についてお気軽にご相談いただければと思います。	2016/8/5	2016/9/14	保育幼稚園課
留守家庭児童会室の入室要件について	留守家庭児童会室の利用にあたって、月間15日以上就労が要件になっています。勤務日数が15日未満でも、勤務時間が長い場合など利用できるよう基準の見直しをお願いします。	平成27年度から国の「子ども・子育て支援新制度」の中で、職員や施設など新たな基準を設けて質の向上を図るべく取り組みを進めているところです。留守家庭児童会室の入室については、現行の基準で入室対象となる児童が多数おられ、基準を緩和することは困難であると判断しております。しかしながら、現在、全児童を対象とした新たな放課後対策として、放課後の児童の安全で有意義な居場所について検討を行っており、この放課後対策等と併せてより幅広い児童をサポートすることができるよう検討を進めてまいります。	2016/8/12	2016/9/13	放課後子ども課
保育所(園)の転園について	自営業で産休がなく、出産数日後から働いています。3人の子どもが同じ保育所に入ることができず、送迎などで疲れきっています。転園申し込みも済ませ待機中ですが、来年度から子どもが同じ保育所に通うことはできないのでしょうか。	転園については、新規入所と同様、利用調整の点数表により順番を決定しておりますので、ご理解をお願いします。来年度の保育所受け入れ人数が確定するのは、11月の第1週目頃となり、平成29年4月1日の入所選考の締め切りである11月30日までは、待機児童の順番は日々変動しますので、待機状況についてはその都度お問い合わせください。	2016/9/6	2016/9/8	保育幼稚園課
兄弟姉妹の同園入所について	姉妹が別の保育所(園)等に通っており、平成29年4月から同じ幼稚園に通えるよう転園の申請をしていますが、入所を希望されている方の点数が高く優先されています。姉妹が同じ幼稚園に通えるようにしてほしいです。	本市としまして、まずは、保育サービスをいち早く利用していただけるよう待機児童対策に力を注いでいるところです。兄弟姉妹が、転所によって同じ保育所等を希望された場合、一定の優先を行っているところで、ご希望に沿っていない状況もあり課題であると認識しております。保育所等の利用については、全体的な均衡を図りながら利用調整を行う必要があるため、現時点での制度及び点数表の見直しは大変難しいところです。今後も、保育所等の利用について丁寧な相談や情報提供を行い、可能な限りスムーズな入・転所が図れるよう努めてまいります。	2016/9/13	2016/10/13	保育幼稚園課
小・中学校での歯磨き及びフッ化物洗口について	保育園や幼稚園と同様に、小・中学校でも昼食後の歯磨きの実施をお願いします。また、むし歯予防に効果があるというフッ化物洗口を実施してください。	枚方市立の各小学校では、歯や口腔の健康教育として、これまで、ブラッシング指導や歯科健康診断の際に行う保健指導等を中心に行ってまいりましたが、歯みがきの習慣化の確立のため、今年度から、モデル校による給食後の歯みがきを実施し始めたところです。今後は、その検証結果も踏まえ、少しずつでも実施校を増やしていきたいと考えております。フッ化物洗口につきましては、学校での実施における効果や課題について研究しているところであり、今後、枚方市歯科医師会のご意見、ご指導をいただき検討を進めていきたいと考えております。	2016/9/29	2016/10/18	学務課
電柱のスクールゾーン標示について	電柱に緑地のステッカーで「文」と標示されたものが設置されていますが、色褪せや破れなども見られ、まちの美化という観点からはマイナスのように思います。撤去あるいは新設できないのでしょうか。	スクールゾーンを表す電柱に巻かれた「文」のステッカーについては、10数年以上前に交通安全の啓発のために設置されており、古く破れているものについては、関西電力に相談し、確認後に撤去しております。現在は、グリーンラインや路面表示、道路標識等の対策をとっておりますので、「文」のステッカーについては、撤去することも含めて現状等を確認させていただきます。	2016/11/11	2016/11/14	児童生徒支援室
留守家庭児童会室の土曜日の開室について	留守家庭児童会室は、土曜日に利用できないため不安を感じています。働く保護者が安心して子どもを預け、子どもが平日と変わらない環境で過ごせるよう毎週土曜日の留守家庭児童会室の開室を希望します。	児童会室の土曜日の開室につきましては、以前より保護者様からご要望をいただくことがあり、その必要性について担当課としては強く認識しているところです。現在、平成29年度4月以降の入室申し込みの受付を行っておりますが、昨年に比べて非常に多くのお申し込みをいただいております。児童を保育する場所の拡充と職員の確保に尽力・対応しているところです。このような状況の中、まずは入室希望児童が急増する現状での児童会室の運営を確立した後に、土曜日の開室についての検討を進めていきたいと考えております。	2017/1/10	2017/1/26	放課後子ども課
若者の自殺対策について	日本では若者の自殺が増加しています。この現状に対して、心の病にならないように若者を教育することが重要です。心の病になった際に同じ境遇の人と気軽に話ができる場所を提供することも必要だと思います。	本市では、ひらかたいのちのホットライン等の電話相談の他、様々な方面からSOSをキャッチできるように、ゲートキーパーの養成研修会や街頭啓発キャンペーン等の自殺予防に関する事業を行っております。また、小中学校では、人権教育等の中で一人ひとりの命を大切にすることを学ぶ機会を設けております。この他にも大学の学園祭での自殺対策のための啓発グッズの配布や中高生・大学生の帰宅時間に合わせた街頭啓発キャンペーンを行うなど若年層への情報発信に努めているところです。今後も庁内外含め各機関とのネットワークの充実や市民の皆様への研修、情報提供に努めてまいります。	2017/1/27	2017/2/16	保健予防課 児童生徒支援室
学校規模等適正化について	小学校の統廃合を進めないで下さい。統廃合で校区が広がると通学時間が長くなり、特に低学年は危険だと思います。	学校規模等適正化の取り組みについてですが、小規模校では交友関係が限定されやすく、多様な考え方に触れる機会が少なくなりがちであること、教職員数が少ないことによる学校運営への支障があることなどから、子どもたちの学習環境向上のため適正化の取り組みを行っております。通学路については、文部科学省の基準により適正な通学距離を設定し、ハード・ソフト両面から検証を行い、安全性の確保に努めてまいります。	2017/2/14	2017/3/10	教育環境整備室
少人数学級の実現について	子どもたちが、のびのびと学校生活ができるように少人数学級を実施してください。	本市の小・中学校の少人数学級編制については、さらに実施学年が拡大されるように今年度も、国・府に対して要望をしているところです。	2017/2/14	2017/3/10	教職員課
待機児童対策等について	待機児童対策として、小規模園が増えてはいますが、保育士不足が心配です。枚方で子育てしたいと言えるよう充実させてください。	本市では、潜在的な待機児童も含めた通年での待機児童の解消に向け、平成31年度当初までに500人の入所枠拡大を目指しております。その中で、保育士の確保策についても、保育士用宿舎の借り上げ費用の支援など、引き続き様々な方策に取り組んでまいります。	2017/2/14	2017/3/10	子育て事業課